

宗像市市民参画等推進審議会会議録（審議会資料）

日 時	平成28年5月19日（木） 10:00～12:10
場 所	宗像市役所 103B会議室
委 員	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <p>■ 井上豊久 ■ 東博子 ■ 山下恵美子</p> </div> <div style="width: 25%;"> <p>■ 木村健次 ■ 松永年生 ■ 吉田晴希</p> </div> <div style="width: 25%;"> <p>□ 志岐宏美 ■ 南博</p> </div> <div style="width: 25%;"> <p>*■出席 □欠席（五十音順、敬称略） ■ 中里留美子 ■ 毛利拓也</p> </div> </div>
事務局	コミュニティ協働推進課；中野、中脇、神 元気な島づくり課；原、末信、武丸 むなかた市民フォーラム；雪松、入江

1. はじめに

《井上会長あいさつ》

例年通り、事前の学習会。今日は中身についての審議ではなく、資料の不足やここはどうなっているのかなどを事務局に聞いていただき、中身については審査会当日にお願いしたい。

2. 委員の交代について

毛利委員就任による委嘱状の交付（河野委員の人事異動に伴う委員の交代）。

《毛利委員あいさつ》

3. 協議事項

（1）平成28年度人づくりでまちづくり事業補助金及び元気な島づくり事業補助金事前学習会

①審査シート、配点基準、得点基準、審査の順番について

資料に基づき、事務局から説明。

《質疑等》

特になし

②個別事案の検討

まず、人づくりでまちづくり事業で、関連部署への事前ヒアリングを要すると考えられる3団体、その後、その他の7団体、元気な島づくり事業5団体について、概要の説明を受け、ポイントについて協議を行う。

（人づくりでまちづくり事業補助金）

資料に基づき、概要を事務局から説明。

「9. 鐘崎の漁村文化を次代につなぐ会」

●昨年度まで農水省の交付金を受けて事業を実施していたようであるが、交付金はもう受けていないのですか。それからどのくらいの金額を受けていたのですか。

⇒平成26年と27年の2か年で終了しています。交付金の金額は400～500万程度であったようです。2年間、様々な事業を実施して、今後は、地元宗像で地に足をつけてやりたいという事で今回の申請に至っているようです。

●子どもの漁村体験プログラムの実施が、事業の柱の一つになるようですが事業内容の詳細がわからないのでそれについての資料をお願いしたい。

⇒審査会当日に詳細のわかる資料を準備していただきます。

●予算の収入のうち、参加者から徴収する費用が30万となっているが内訳は。

⇒料理教室や子どもの体験プログラムの参加者負担金となると思いますが、こちらも内訳について当日ご説明いただけるように指示します。

●イベントモニターの必要性は。

⇒審査会当日にモニター制度と必要性について説明していただきます。

●交付金を活用し、2年間でどういう事を行ったのか。その経験が今回の企画にどのように繋がっているかが知りたい。これまでやってきたことで継続するところや止めるところ、また、新たに取組むことなどについても確認したい。

⇒審査会当日に説明できるように指示します。

《関連課（商工観光課、水産振興課）へのヒアリング》

●関連課として今回の申請についてどう考えていますか。

⇒水産振興課より。この申請されている団体は宗像市鐘崎の巻き網船団の一つの漁師さんが中心ですが、国の交付金を活用して事業をしていたことは把握しています。ただ、国の交付金で実施していることなので内容の詳細まで把握できていません。

漁協としても浜の活性化のために積極的に活動してもらえるのは大変ありがたいことですが、漁協に成果が伝わってないようです。団体としても漁協に理解してもらいたいという思いはあると思います。今回、こういったかたちで市の補助金を活用することになれば、市民協働とも関わるので、うまく橋渡しできればいいなと思っています。活動内容としては、浜の活性化に繋がる取り組みにさせていただいており、市の考えと一致しているので、何とか地元にも理解してもらおうようにサポートしていきたいと考えています。

加工品の開発については、巻き網船団で水揚げした材料がたくさんあると思うので、魚に付加価値をつけて販売し所得を上げてほしい。その中で一番大事なのが、売り先をどうするかということ。作ったものをどこで売るかというゴールまで見すえておく必要があると思います。そのあたりも漁協も加工場を鐘崎に整備して、いろいろ商品開発に取り組んでいるので、うまく漁協とも連携できればいいのかなと思っています。

「1. ノルディックウォーキングを広める会」

●予算の収入の中で参加費が一人35,000円、これで資格がとれるということなのだろうが、支出の方で何が個人負担で何が補助金から充てられるかが不明。また、対象は高齢者だけなのか、それから公開講座や体験会をどこで行うのかが申請書上よくわからないです。
⇒参加費35,000円を何の経費に充てるか、高齢者だけが対象になるのか、また、公開講座の開催場所などについても審査会当日に説明できるようにと伝えます。

「2. 宗像自炊塾」

●団体のメンバーにはレストランの料理人もいるようであるが、会場はどこを考えているか。事業の回数について、計画は4回になっているが、予算上では8回となっている。どちらが正しいのですか。

⇒主な会場は、メイトムの調理室のようです。主婦層は昼間、社会人は18時以降などの方が参加しやすいのではと考え、各期4回について、それぞれ昼間と夜間ということで8回になっていると思われます。

●対象者は、どのあたりを想定しているのですか。

⇒対象は10代後半から40代前半くらいを主な対象にしたいと聞いています。男女は問わないようです。

●募集要項で本件の事業が行政テーマ型事業として募集されています。学校管理課の方と事前に話がなされているということでしょうか、こういったことは、市民サービス協働化提案制度で進めるべきではないですか。

⇒本件の団体からは、昨年から宗像市でも社会人向けに食育に関する事業を実施してみたいという提案があっていました。市が予算化してすぐに委託というかたちで事業を進めるよりもまずは、団体を立ち上げて体制を確立し、実際に事業に取り組めるのかどうかを、人づくりでまちづくり事業補助金制度のもとで取組んでみていただければと整理しました。

●宗像市の補助金を九州大学が使うのか。九州大学なら他にもいろいろとあるはずですが。

⇒代表の比良松先生は宗像在住で、河東小学校のPTAの会長をしていた時に、弁当の日を実施したりして食育にとっても熱心です。そういったこともあり今回、宗像での申請に至ったようです。

「3. Grand Jour」

●当団体で取組んでいることは素晴らしいと思いますが、事業所としての基盤があるようなので市の補助金で支援をする必要があるのか。また、申請内容では、公益的な活動が計画に上げられているが、営利目的で行っているところと、非営利で行っているところの区別はできているのでしょうか。

⇒事前に申請の相談を受けた時に、個人事業主として営利活動で行うものと、今回の申請にかかる非営利の部分は切り分けて事業を行っていただく必要があると説明しています。そういった理解のもと申請が出た状況です。

●協力体制のところにもいろいろな事業所や団体が書かれているが具体的にどのように協力

しているのですか。

⇒審査会当日に説明できるように指示します。

「4. 宗像フェス実行委員会」

●子どもたちの活動は竹灯ろうを作るだけなのですか。

⇒子どもの関わりとしては、被災地熊本へ向けたメッセージなどを竹灯ろうに施し、それをフェスの会場で販売するところまでを予定しているようです。

●竹灯ろうは一個いくらくらいで販売する予定ですか。

⇒審査会当日に説明できるように指示します。

●予算書で竹灯ろうの経費を支出に計上しているのであれば、売上・義援金は収入に入れるべきではないですか。

⇒審査会までに予算書の修正を指示します。

●宗像フェスと竹灯ろうイベントの関係がよくわからないのですが。

⇒宗像フェスは音楽イベントで、その会場の一角で竹灯ろうのイベントを行うようです。

●フェスの開催だけで、手いっぱいになるのでは。このイベントに子どもがどういう登場をするか。このイベントの中で子どもがどう関わるのかちょっと見えないですね。赤間で開催している夢灯ろうイベントでは、事前に子ども達が学校で作って、それをもってくる。今回はどうするのか、審査会の中で聞くこととしたい。

《関連課（子ども育成課）へのヒアリング》

●市の関連部署には申請前に相談などありますか。

⇒子どもたちが関係する事業ということで、今日この場に来させてもらっておりますが（子ども育成課）、事前の相談とかはあっておりません。私どももイベントの詳細は存じ上げておりません。子ども育成課としては、子どもにやさしいまちづくりの一環として地域のみなさんが青少年の健全の育成のためにこういった活動を企画してやっていただくことについては大歓迎です。できれば成功していただきたいと思っておりますけど、この企画書を見る限りではですね、ちょっと詳細の事がわかりません。

「5. ママフェス実行委員会」

●関連課への事前相談がなくても申請書を提出できますか。

⇒提出は可能です。事前の相談を受けることはありますが、事前相談がないから提出を受け付けないということはできません。事前に話があれば、関連課を交えて相談を行っています。

●関連課も言われているように私たちもこの申請書からは、会場でどういうイベントが行われるのかわかりません。イベントの内容がわかる資料を審査会当日に準備してほしい。

⇒イベントの詳細がわかる資料の準備を指示します。

●事業費の90パーセント以上が委託費というのは、初めてである。また、興業中止保険を計上している事業もなかったようです。また、ママのためのイベントにも関わらず、託児料が予算に計上されていなくて大丈夫でしょうか。そういう事も含めて、市の関連課の意見を

聴くことはできないのですか。

⇒関連部署は、今日、来ているので必要でしたら聞いていただいてもかまわないです。

●関連部署がこれはやるべきだ、やってはいけないというようなことを申請前に伝えてもいいのではないですか。

●事前に関連部署に相談があった方がいいとは思いますが、関連部署がどう思おうがこれはいいこれは悪いって言えるのが審議会の存在意義。ですので、事前相談無しで、申請書が提出されることに問題はないと私は認識しています。

⇒最終的に良い悪いというところまで、市としては言及しかねる部分があると思います。ただ、市の事務事業と方向性がどうかという参考の意見を皆さん方にお伝えさせていただくことはできるかと思います。

《関連課（子ども育成課）へのヒアリング》

●子どもまつりの1週間前に開催するようですが、関連課としてどうお考えですか。

⇒この申請団体の方から私どもは事前に相談等全く受けておりませんので、その内容については存じ上げておりません。日程についても市の一大イベントの子どもまつりが11月3日に控えているのでバッティングしなければいいなという不安はあります。ただ市民の方がイベントを企画してまちを盛り上げようという動きは歓迎いたします。

「6. ガールスカウト福岡県第26団」

特になし

「7. 宗像アサギマダラの会」

●事業費が若干大まかなので事業費については、もう少し細かい部分を確認したい。また、プリンター購入の必要性についても。

⇒審査会当日に事業費の詳細とプリンター購入の必要性の説明ができるように指示します。

「8. 宗像かのこゆり研究会」

●副会長にアサギマダラの会の代表が就いているが、兼務は問題ないですか。

⇒特に問題はないと考えています。制度上も特に制限をもうけていません。

●赤玉土185,000円の購入は適切か。どういう使い方をするのでしょうか。

⇒審査会でご確認いただきたいと思います。

「10. まつりのぼせもんたい」

●スタッフジャンパー4000円を30枚、Tシャツ3000円を30枚、数が多くないですか。

●スタッフや芸人の人材育成の具体的な方法が不明。審査会で確認したい。

「11. 赤間にぎわしたい」

●予算をみると、のれんの購入費を計上しているが、どのようなのれんを購入し、どのように活用するかが不明ですね。

●前年度の反省の中に出店者との調整がうまくできなかったとありますが、今年はどう対応するのでしょうか。

⇒審査会当日に説明できるように指示します。

「12. 赤間サポート隊」

●スタッフジャンパー代が予算の大半を占めています。審査会当日に必要性などを確認する。

「13. 宗像まちづくりを楽しむ会」

●コミュニティ運営協議会はそれぞれの12地区の会長をはじめいろんな役員の人たち、また部会の人たちが、一生懸命がんばっている。地区によってそれぞれ状況が異なるが、そういったところまで認識しているだろうか。

⇒審査会当日にいろいろとご質問いただければと思います。

「14. ふれあい自由塾の会」

●備品で予算計上しているクロリティーは宗像市で所有していないのですか。

⇒市の文化スポーツ課に確認したところ、クロリティーは無いが、輪投げのようなものはあるようです。

「15. 田久有志の会」

●市全体と田久の自治会加入率はどうなっていますか。

⇒宗像市全体としては、26年度が75.4%、27年度が74.2%で下がり気味です。

田久は26年度が45.7%、27年度が43.6%でこちらも下がり気味です。

●事業の目的としては、田久で成功事例を作って、それをほかの地区に拡大していきたいところですか。

●モデル地区としてやっていくというところでしょう。審査会当日に確認しましょう。

（元気な島づくり事業補助金）

資料に基づき、概要を事務局から説明。

「あ. 九州女子大学人間生活学科」

特になし

「い. 宗像ライフセービングクラブ」

特になし

「う. 大島小学校PTA」

特になし

「え. 公益社団法人宗像青年会議所」

●市の世界遺産登録推進室の方から予算が入っていると思うが、この補助金との棲み分けはできているのですか。

⇒世界遺産登録推進室から委託料が出ていますが、それは、宗像ユリックスなどで講演を行い、世界遺産登録に向けたPRを行うもののようです。今回の申請にかかるものは、昨年と同様に、大島で大島の子どもたちにも参加してもらってミュージカルを作り上げるものであり棲み分けはできているようです。

「お. 離島PRクラブ」

●今年も大島と地島の両方に関わる事業をおこなうのですか。

⇒昨年度は、両方の島に関わっていましたが、今年度は地島のほうに重点をおいて取り組むようです。

(おわりに)

審査会の時に資料とか準備しておいたほうがいいものがあれば、市の方にお知らせいただきたい。15の提案の事前協議についてはこれで終わらせていただければと思いますが全体を通して意見などがあればお願いしたい。

●世界遺産登録に向けて受け入れ体制などいろいろと準備が必要であると思います。大島の島民と行政が話し合って体制を整えてほしい。

⇒元気な島づくりの補助金とは切り離して、世界遺産登録推進体制本体のお話になると思いますが、受け入れ体制については、大島が最前線になるというのは間違いありませんので、昨年度後半から、当時の元気な島づくり課や商工観光課だけでなく、市の各分野に関わる問題だという事で、市の中で経営企画課を中心にプロジェクトチームを作ってそれぞれの分野で、島だけじゃなくて本土側も含めて宗像大社周辺をどうするか、最寄駅である東郷駅からの足の確保はどうするかという事も含めて、受け入れ体制の検討を進めております。今年度に入って、組織も改編し、その推進体制をさらに強化しています。

●元気な島づくり課はなくなったのですか。

⇒商工観光課と一体となって取組を進めていく必要があることから、商工観光課元気な島づくり係となりました。これは離島振興をトーンダウンさせるという意味合いではなくて一体となって推進していきましようという意味合いでこういう組織改編に至っています。

4. その他

①社会教育委員研修会実行委員の選出について

資料に基づき、事務局から説明（吉田委員を推す声あり）⇒吉田委員了承。

②宗像市コミュニティ施策検証審議会の答申に係る審議会の開催について（日程調整）。

⇒7月7日9時30分から決定。

③11月10日、11日開催予定の社会教育委員九州ブロック研究大会、9月30日開催予定の平成28年度福岡ブロック社会教育委員研修会、共に予定を空けてぜひ参加いただきたい。詳しい日程等は次の委員会で連絡。

= 散 会 =